第３学年算数科学習指導案

１　単元名　三角形と角

２　本時のねらい

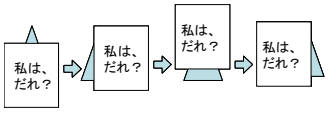
三角形を折る、切る、並べるなど様々に操作し、二等辺三角形や正三角形の角の性質等について気付き、説明することができる。

３　準備物

【児童用】　折り紙を折って各自が作った二等辺三角形や正三角形
性質を見つけるために操作できる二等辺三角形や正三角形（多数）

【教師用】　二等辺三角形、正三角形、不等辺三角形（各１枚）
紙で一部を隠した二等辺三角形

４　展　開

学習活動・内容（分）	教師の働きかけと評価（評価方法）
１　三角形の種類を弁別する。　(10) ・二等辺三角形や正三角形の定義 ・２つの角（底角）の大きさへの着目 ・三角形を折って確認する二辺相等	○　二等辺三角形、正三角形、不等辺三角形を示し、辺の長さに着目して弁別させる。 ○　紙で隠した三角形を紙をずらしながら示し、三角形がどう見えたとき二等辺三角形だと判断したか根拠を語らせる。  ○　二等辺三角形の紙を児童一人ひとりに配り、定規を用いずに二辺相等が確認できる方法を考えさせる。
二等辺三角形の性質は、２つの辺の長さが等しいだけかな？	
２　二等辺三角形の性質を調べる。(10) ・二等辺三角形の性質を調べるための操作方法 ・見つけた性質を自分なりの言葉で表現すること	○　調べ方の見通しが立たない児童がいた場合は、折る、切る、重ねるなどの操作を紹介させたり、折り目をチョークでなぞったものを示したりする。 ○　児童が様々な方法で調べられるよう、紙は多数用意しておく。 ○　見つけた性質は、ノートにメモさせておく。
３　調べた二等辺三角形の性質を発表する。　(15) ・２つの角の大きさが同じであること ・折り方によっては半分に折れること ・半分に折って開くと、同じ大きさ、形の直角三角形が２つできること	○　発表された内容に従って実際に操作し、確かめさせる。その際、以前各自が作った二等辺三角形を使い、見付けた性質がどんな二等辺三角形にも当てはまることを確認させる。 ○　線対称や合同等、本時のねらいとは直接関係ないことでも児童が見出した気付きは価値付け、今後の図形学習に生きる素地を培う。 評　みんなが納得する操作や説明をすることができる。　（見取り）
４　正三角形の性質について話し合う。　(10) ・３つの角の大きさが同じ ・どの頂点を中心にしても半分に折れること ・半分に折って開くと、同じ大きさ、形の直角三角形が２つできること ・折り方によっては、開いた正三角形の中に直角三角形が６つできること	○　正三角形を各自が操作しながら、二等辺三角形で調べた観点に従って、正三角形の性質を調べていくようにさせる。 ○　どんな大きさの正三角形にも調べた性質が当てはまることを確認させる。 評　二等辺三角形で調べたことを基にして正三角形の性質を調べていくことができる。 （ノート、行動観察）